

特区
ニュース

先端医療機器開発・臨床研究センター (CRCMeD)の設立

京都大学医学部附属病院の組織として本格的な産官学連携拠点が設立された。医療機器開発スーパー特区をはじめとする医療機器開発プロジェクトを推進支援する

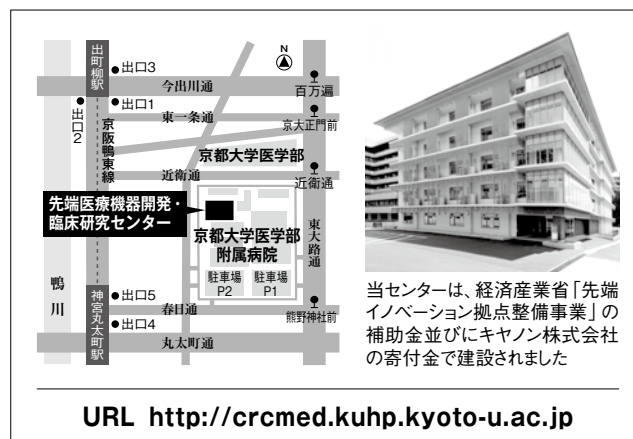
研究分担者
清水公治

先端医療機器開発・臨床研究センター
先端医療機器開発支援室長
(医学研究科特任教授)



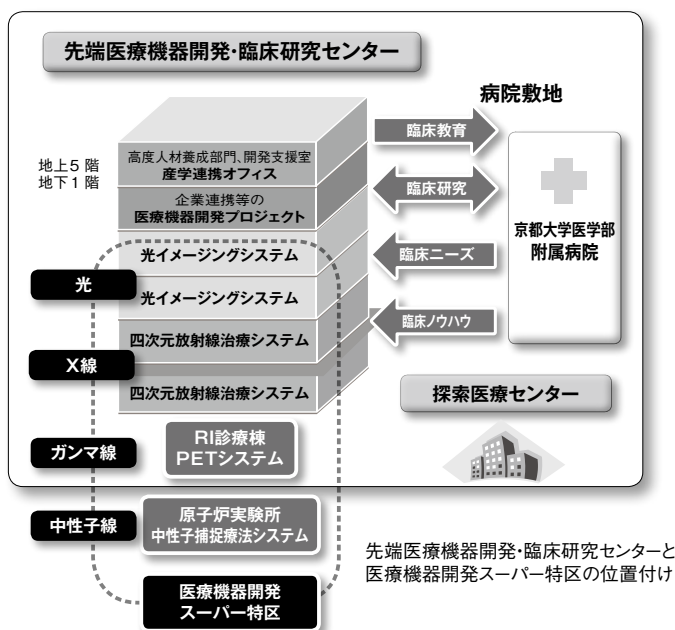
先端医療機器開発・臨床研究センター (CRCMeD: Clinical Research Center for Medical Equipment Development, センター長三嶋理晃病院長兼務)が2011年4月に、京大病院の組織として新たに設立された。革新的な医療機器の迅速な実用化を図るとともに、医療機器開発を担う人材の育成が目的である。

超高齢化社会を迎えた我が国は、医療分野でのイノベーションが強く求められている。そのキーワードが「トランスレーショナルリサーチ」と「オープンイノベーション」である。当センターは、産業界と地方自治体との本格的な産官学連携拠点として、京都大学の探索医療センターや「医学領域」産学連携推進機構などの医療開発・臨床研究支援体制と効率的・効果的に連携して、我が国の医療機器開発のボトルネックである臨床研究に重点的に取り組む。とくに、医療機器は絶え



当センターは、経済産業省「先端イノベーション拠点整備事業」の補助金並びにキヤノン株式会社の寄付金で建設されました

URL <http://crcmed.kuhp.kyoto-u.ac.jp>



間ない改良・改善を通して発展するもので、その実用化には探索的な臨床研究が重要である。このため、開発する機器の特性に適した探索的臨床研究を支援することで、医療機器・医療技術の次世代化の研究プロジェクトを推進する。

センターは、センター長、副センター長、医療機器開発支援室が中核組織となり、研究プロジェクト部門、高度人材養成部門および産学連携オフィスで構成される。研究プロジェクト部門は民間等との共同研究、受託研究、補助事業などのプロジェクト、また、産学連携オフィスは自治体等の団体からの申請を受けて、運営委員会が採択・配置を決定する。

地上5階地下1階(延床面積 約4,635m²)の当センターは7月に竣工記念式典が開催され、現在、各研究プロジェクトの配置が進んでいる。とくに、スーパー特区「イメージング技術が拓く革新的医療機器創出プロジェクト」からは二つのプロジェクトが活動するための準備を進めている。2011年度末までには本格稼働する予定で、今後の成果が期待される。

中尾一和京都大学教授に紫綬褒章

2011年春の褒章において、難病創薬スーパー特区研究代表者の中尾一和教授が紫綬褒章を受章された。同教授は、とくに内科学の内分代謝学領域の研究で、ナトリウム利尿ペプチドホルモンファミリーとレプチンなどの新規ホルモンの生理的、病態生理的意義の解明をもとに、心不全の診断法・治療薬、軟骨無形成症治療薬、脂肪萎縮性糖尿病治療薬の臨床応用などの業績を上げた。

今回の紫綬褒章受章は、基礎研究の発見を臨床に橋渡しするトランスレーショナル研究における最初の受章であり、その功績が高く評価されたことによる。

